

| 教科名 | 科目名 | 単位数   | レポート枚数 | 開講時数 | 必要面接時数 |
|-----|-----|-------|--------|------|--------|
| 情報  | 情報Ⅰ | 前期2単位 | 6      | 12   | 4      |

#### ◇科目の目標

情報に関する基本的知識、パソコンの基本操作を学習し、情報社会に対応できる知識・技能を養うとともに情報モラルを身につけます。

#### ◇科目の概要

レポート学習と実習からなります。実習においては、パソコンを用いて Word , Excel , PowerPoint 等の操作を通し、情報や情報技術について学習します。

#### ◇学習の進め方

レポート学習は教科書の内容を中心に学習します。実習は適宜プリントを配布する予定です。

#### ◇スクーリング計画

| 回数 | 開講日<br>(前期)            | スクーリング実習内容              |
|----|------------------------|-------------------------|
| 1  | 4月 26・27日<br>5月 10・11日 | ワープロ基礎 (Word)           |
| 2  | 5月 24・25日<br>6月 21・22日 | 表計算(Excel)              |
| 3  | 7月 5・6日<br>7月 12・13日   | プレゼンテーション (Power Point) |

#### ◇テスト範囲

|         |            |         |            |
|---------|------------|---------|------------|
| 前期中間テスト | レポート 1,2,3 | 前期期末テスト | レポート 4,5,6 |
|---------|------------|---------|------------|

#### ◇履修にあたっての留意点

少しでも多くパソコンに接する時間を持ち、操作を通してコンピュータに慣れ親しむことが大切です。

#### ◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価します。  
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。  
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの履修内容をしっかり取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

#### ◇使用教科書

東京書籍 「新編 情報Ⅰ」

| 教科名 | 科目名 | 単位数   | レポート枚数 | 開講時数 | 必要面接時数 |
|-----|-----|-------|--------|------|--------|
| 情報  | 情報Ⅰ | 後期2単位 | 6      | 6    | 4      |

#### ◇科目の目標

情報に関する基本的知識、パソコンの基本操作を学習し、情報社会に対応できる知識・技能を養うとともに情報モラルを身につけます。

#### ◇科目の概要

レポート学習と実習からなります。実習においては、パソコンを用いて Word , Excel , PowerPoint 等の操作を通し、情報や情報技術について学習します。

#### ◇学習の進め方

レポート学習は教科書の内容を中心に学習します。実習は適宜プリントを配布する予定です。

#### ◇スクーリング計画

| 回数 | 開講日<br>(前期) | スクーリング実習内容              |
|----|-------------|-------------------------|
| 1  | 10月 25・26日  | ワープロ基礎 (Word)           |
| 2  | 11月 8・9日    | 表計算(Excel)              |
| 3  | 12月 27・28日  | プレゼンテーション (Power Point) |

#### ◇テスト範囲

|         |            |         |            |
|---------|------------|---------|------------|
| 前期中間テスト | レポート 1,2,3 | 前期期末テスト | レポート 4,5,6 |
|---------|------------|---------|------------|

#### ◇履修にあたっての留意点

少しでも多くパソコンに接する時間を持ち、操作を通してコンピュータに慣れ親しむことが大切です。

#### ◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価します。  
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。  
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの履修内容をしっかり取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

#### ◇使用教科書

東京書籍 「新編 情報Ⅰ」